



■発行所／(株) びゅ〜すまいる編集舗・みまもり未来プレス編集部
 ■2025年6月19日発行号 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

ファミリーマート×むすびえ

<https://musubie.org/news/12095/>

「こども食堂スタート応援助成プログラム」 2025年度の募集が開始へ

～こどもたちの笑顔が地域をつなぐ～

ファミリーマートと認定NPO法人「むすびえ」は、「2025年度こども食堂スタート応援助成プログラム」の募集を開始する。これは、同社が長年継続してきた店頭募金「夢の掛け橋募金」を原資とし、こども食堂の新規立ち上げをめざす団体を対象に実施される助成事業である。

地域を支える、企業とNPOの連携

本プログラムは、2021年から「むすびえ」と共に実施してきたこども食堂支援の一環である。これまでに延べ4,762団体への助成実績を持ち、今年度は特に新規団体の支援に重点を置く。

申請期間は2025年7月1日(火)～8月29日(金)で、夏・冬あわせて250団体に、1団体あたり5万円の助成が予定されている。助成金の交付に加え、オンラインでの勉強会なども提供される。

地域に広がる“こども食堂”の輪

「むすびえ」の調査によれば、2024年度の全国のこども食堂数は1,735箇所増加し、10,867箇所に到達。すでに公立中学

校数を上回る数に達しており、地域社会に根づいた存在となりつつある。

助成で芽吹く、あたたかな交流

助成を受けて活動を開始した団体からは、「多世代が交わる居場所になっている」「地域の見守りやつながりが広がった」などの声が届いている。食事をきっかけに、普段は交わらなかった人々の間に、自然な絆が生まれていることがわかる。

“食”を通じて、未来へつなぐ支援

こども食堂は、食事の提供だけでなく、「安心できる場所」「地域の絆」「誰もが孤立しない社会づくり」に寄与している。こうした活動を支える企業とNPOの取り組みは、地域の未来を明るく照らすものである。申請や詳細は、「むすびえ」公式サイトで案内中。想いをバトンに、笑顔をつなぐ。

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」の理念のもと、地域社会に寄り添う存在であり続けることを掲げている。本助成は、募金を通じて届けられた“想い”を、子どもたちの未来へと手渡す活動でもある。



シニアが元気になると
日本が元気になる！

元気シニア倶楽部
会員募集中!!

— 入会費・年会費なし —

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



“身寄りがない”時代に備える、信頼できる保証先を探す

～ Web サービス「身元保証のけんさく」公開～ —OurPlan—

高齢化とともに単身高齢者が増える中、入院や施設入居などに必要な“身元保証人”の不在が課題となっている。

OurPlan(東京都)は2025年5月、身元保証事業者を地域別に検索・比較できるWebサービス「身元保証のけんさく」を公開した。高齢者や家族、支援者が安心して保証先を見つけられることを目指す。

本サービスでは、事業者からの提供情報やネット上の公的情報をもとに、編集方針に則って掲載。各社の対応範囲や費用感、サービス内容な

どを比較しやすく構成している。印刷対応も意識され、家族や支援者と検討しやすいのも特徴だ。

また、各事業者が内閣府「高齢者等終身サポート事業者ガイドライン」に準拠しているか否かも記載。情報の透明性にも配慮している。

身元保証分野には法的基準がなく、情報のばらつきが課題とされてきた。「身元保証のけんさく」はそうした空白を埋める公共的な情報インフラを目指してお

り、掲載希望や修正依頼もサイトから受け付けている。

今後は、利用者や支援者の声をもとに、さらなる改善・拡充を進める方針だ。

信頼できる
身元保証事業者に
出会える

身元保証のけんさく

<https://mimotohosho.ourplan.jp/>

スマートデバイス『mizlog』がクラファン始動

水分補給のタイミングを優しく知らせるコースター型のガジェット——ユカイ工学——

象印マホービンとユカイ工学が共同開発したスマートデバイス「mizlog(ミズログ)」のクラウドファンディングが、2025年6月9日よりスタートした。

「mizlog」は、水分補給のタイミングを優しく知らせるコースター型のガジェット。水を飲んだ量を自動で記録し、専用アプリと連動して日々の水分摂取をサポートする。飲水に応じてアプリ内の植物が育つ仕掛けもあり、ゲーム感覚で楽しく続けられるのが特徴だ。

クラウドファンディングは、Kibidango

とGREEN FUNDINGの2つのプラットフォームで実施。目標金額は1120万円(1000台分)で、いずれも“All or Nothing形式”が採用されている。目標未達の場合、製品は商品化されない。

開発の背景には、象印が長年提供してきた高齢者見守りサービスの経験と、「親と子の双方向のつながり」への着目がある。家族で水分摂取状況を共有し合うことによる、ゆるやかな見守りの形を模索する中で、ロボティクスのノウハウを持つユカイ工学との共同開発に至った。

「mizlog」は、現在SHIBUYA TSUTAYAの「GREEN FUNDING タッチ&トライ」ブースにて展示中(6月25日まで)。展示ではプロトタイプの実機を確認できる。



<https://kibidango.com/2784>

アイデアの**商品化**を推進する
身近な**発明展**
ヒント

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレインモンジュ・林野 均の「シニア`萬、遊記」第93回

高齢社会白書2025年版

2025年版の「高齢社会白書」が発表されました。2024年10月1日現在、我が国の総人口は1億2,380万人で、65歳以上の人口は3,624万人、割合（高齢化率）は29.3%です。2070年には2.6人に1人が65歳以上、約4人に1人が75歳以上と見込まれています。

また、65歳以上の就業者数、就業率は各年代とも上昇しています。65歳以上の一人暮らしは男女ともに増加、2050年には男性26.1%、女性29.3%になると見込まれています。

また、内閣府が2024年に実施した「高齢社会対策総合調査（高齢者の経済生活に関する調査）」の結果も公表されています。全国の60歳以上の男女が調査対象で、有効回答数は2,188人です。

全体で見ると「現在、定期的に収入を伴う仕事をしている」又は「現在、不定期ではあるものの、収入を伴う仕

事をしている」と回答した割合は4割を超えており、前回調査（令和元年）と比較して上昇しており、65歳以上について見ると、定期・不定期を合わせて「仕事をしている」と回答した割合は35.6%となっています。そして仕事をする理由は「収入のため」が5割以上で、最も多くなっています。また65歳以上について見ると、「収入のため」と回答した割合が最も高いものの、「働くのは体によいから、老化を防ぐから」と回答した割合が3割弱となり、全体と比較して、高くなっています。

家計に対する質問では、全体で見ると、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」又は「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」と回答した割合（心配なく暮らしていると回答した割合）は前回調査時と比較してやや低下しており、特に75歳以上の女性は同年代の男性と比べ、心配であると回答した割

合が高くなっています。具体的な不安としては特に物価上昇を挙げる人が多くなっています。また家族形態別で見ると、一人暮らしの人は、心配であると回答した割合が一人暮らし以外の人を大きく上回っています。

就業に対するニーズは個々人の属性に応じて多様であり、白書のなかでは「高齢期における就業意欲は高まっている」と分析されていますが、「働かざるを得ないから」というのが実状ではないでしょうか？



Author／林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレイン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレイン・モンジュ

tel.090-3682-3310